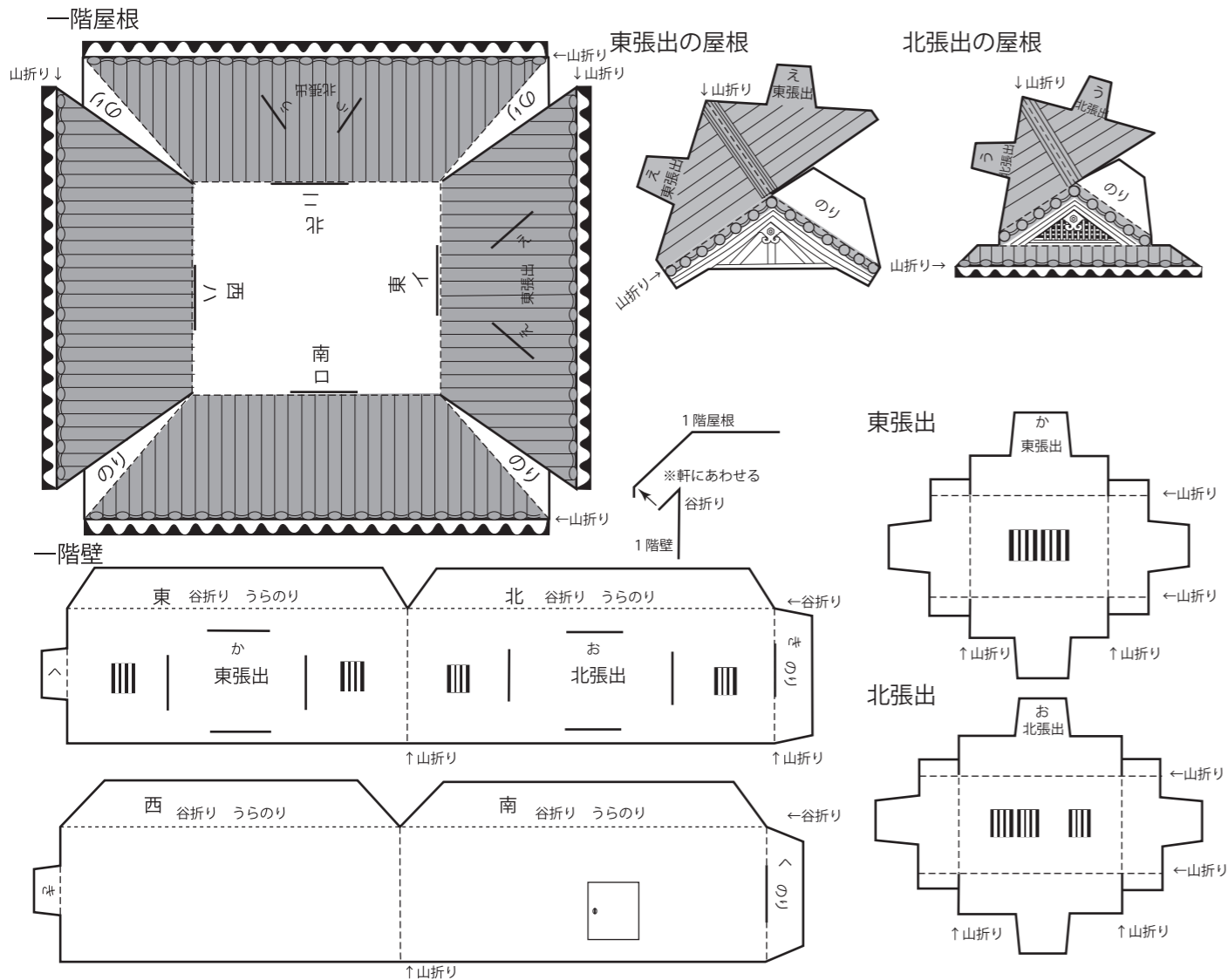


平成16年に復元された甲府城稲荷櫓を1/200で完全再現。今号はその1階部分のモデルをのせているぞ。49号掲載の2階部分と合体させて稲荷櫓を完成させよう!



完成写真(全体図)

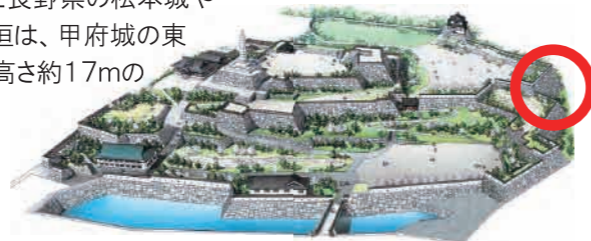


甲府城研究室久保田普請方教授の「甲府城石垣の秘密のスポットを紹介!でござる」の巻



甲府城の石垣は、石をほとんど加工せずに積む「野面積み」の石垣で、今から400年以上も前につくられたものでござる。左の写真が甲府城の石垣でござる。角のラインは真っ直ぐで、傾きも緩やかでござるね。これは、まだ石垣に反りがつけられる前の特に古い時期の特徴でござる!

近隣では、甲府城と同時期につくられた長野県の松本城や小諸城でもみられるでござる。写真の石垣は、甲府城の東端でみられるでござる。このすぐ隣には、高さ約17mの石垣も!これも見所でござるよ☆



今回のコラム執筆は久保田健太郎文化財主事。

甲府学問所蔵典館では普請方教授を務める。専門は旧石器時代ですが、石つながりて甲府城の石垣に魅せられている。気がつくと常に石垣を観察しているナイスガイです。

編集後記

今回は50号記念ということで、8ページ編成です。表紙も埋文の広報ということで考えてみたところ、これしかない!という素材が今回のモグラです。暖かくなってきたためでしょうか、最近、史跡鏡子塚古墳の近くでもモグラ塚をよく見かけます。(池)

埋文やまなし 第50号

発行 山梨県埋蔵文化財センター

〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923

☎055-266-3016

印刷 株式会社峽南堂印刷所

[表紙 PHOTO by GATAG]

目次

発掘調査速報 2~3

『埋文やまなし』の歴史 4~5

資料普及の仕事 6~7

みんなで作ろう!埋文クラフト 8

コラム久保田普請方教授の「甲府城石垣の秘密スポットを紹介」 . . . 8

50号記念号